

1. 略歴

- 1997年 オックスフォード大学 University of Oxford (社会学)・社会学博士
1997年4月 国立社会保障・人口問題研究所室長
2003年4月 筑波大学大学院システム情報工学研究科助教授
2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授 (社会学)
2010年8月 東京大学大学院人文社会系研究科教授 (社会学)

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会階層論、人口社会学、計量分析

b 研究課題

主な研究課題として次の4つに取り組んでいる。

- (1) 少子高齢社会の不平等構造
- (2) 社会的、私的移転に関する実証研究
- (3) 資産の不平等に関する実証研究
- (4) 社会階層と移動に関する実証研究

c 概要と自己評価

人口高齢化と階層格差に関する研究を中心に進めている。特に、2013年度より特別推進研究「少子高齢化からみる階層構造の変容と格差生成メカニズムに関する総合的研究」(課題番号 25000001)を立ち上げ、2015年度には本事業の柱の一つである第7回「社会階層と社会移動に関する全国調査 (SSM 調査)」(1955年以降、10年ごとに実施されてきた)を実施した。さらに、高齢化に注目して「中高年者の生活実態に関する継続調査」の3回目を実施し、パネル分析研究も進めている。大型プロジェクトを運営し、海外での学会報告や英文ジャーナルに論文を掲載し、新たな研究成果の発表を進めており、ほぼ予定通り、研究成果をあげることができた。

d 主要業績

(1) 論文

Sawako Shirahase, 「Economic Inequality among Families with Small Children」、『Social Inequality in Post-Growth Japan』、107-120頁、2017

白波瀬佐和子、「小さな世帯の増加と社会保障」、『社会保障研究』、第2巻・第1号、4-18頁、2017.6

白波瀬佐和子、「人口構造の変化と経済格差」、『日本労働研究雑誌』、1月号 (No.690)、44-54頁、2017.12

(2) 書評

アンソニー・B・アトキンソン、『21世紀の不平等』、東洋経済新報社、『経済セミナー』、no. 690、115頁、2016.6

(3) 解説

白波瀬佐和子、「2015年「社会階層と社会移動に関する全国調査」(SSM 調査)の実施」、『中央調査報』、No. 712、1-7頁、2017.2

(4) 学会発表

国際、白波瀬佐和子、「Sociologies in Dialogue: An Asian Perspective」、Council of National Associations, ISA, Academia Sinica, Taiwan、2016.5.9

国際、白波瀬佐和子、「Generational Cohesion through Making a Bequest」、International Sociological Association, RC28、シンガポール国立大学、2016.5.26

国際、白波瀬佐和子、「Income inequality among families with children in the society with low fertility rates: Focusing on Japan with a cross-national perspective」、Sociological Forum, International Sociological Association、ウィーン大学、2016.7.11

国際、白波瀬佐和子、「Economic inequality among children in low-fertility societies:」、international sociological association, RC28、ベルン大学、2016.8.29

国際、白波瀬佐和子、「Mother's work and economic inequality among children in low-fertility societies: Focusing on Japan from a cross-national perspective」、EAJS International Conference、リスボン、2016.8.31

国内、白波瀬佐和子、「少子高齢社会における富の分配」、日本社会学会、九州大学、2016.10.9

国際、白波瀬佐和子、「Economic inequality among families with small children in low-fertility societies」、SNU-UT Joint Sociological Forum、東京大学、2016.11.14

国際、白波瀬佐和子、「Wealth Inequality in a Rapidly Aging Society: The Case of Japan」、International Sociological Association, RC28、ケルン大学、2017.4.1

国際、白波瀬佐和子、「Social inequality in occupational inheritance and wealth accumulation in Japan from an intergenerational perspective」、international sociological association, RC28、コロンビア大学、ニューヨーク、2017.8.9

国内、白波瀬佐和子、「社会階層論から見る世帯規模の縮小」、日本家族社会学会、京都大学、2017.9.8

国内、毛塚和宏・白波瀬佐和子・瀧川裕貴、「社会的不平等拡大への検証」、日本家族社会学会、京都大学、2017.9.9

国内、白波瀬佐和子、「人口高齢化を考慮した社会階層論再考——2015年SSM調査分析結果(1)——」、日本社会学会、東京大学、2017.11.4

(5) 研究報告書

白波瀬佐和子、「少子高齢化からみた社会階層論再考」、『2015SSM調査報告書 第2巻 人口・家族』、219-233頁、2018

白波瀬佐和子、2015年「社会階層と社会移動に関する全国調査(SSM調査)」、『2015SSM調査報告書 第1巻 調査概要・方法』、1-12頁、2018.3

白波瀬佐和子他、「日本のくらしと仕事に関する全国調査」の概要と調査設計、『2015SSM調査報告書 第1巻 調査概要・方法』、201-222頁、2018.3

毛塚和宏・白波瀬佐和子・瀧川裕貴、「教育達成の世代関係からみる階層間格差の変容」、『2015年SSM報告書 第2巻 人口・家族』、27-43頁、2018.3

(6) マスコミ

「貧困・格差をどうするか(上)「機会の不平等」解消急げ」、『日本経済新聞社』、2016.12.26

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本家族社会学会、理事、2016.9～

国外、International Sociological Association, Executive Committee member (2014-2018)

International Sociological Association, Research Committee of Social Stratification, Board member (2014-2018)